



第24回京都大学リサイクル市活動報告書

概要

京都大学リサイクル市は今年で24回を数え、全国での同様のイベントの中でも有数の歴史を誇ります。リサイクル市とは、**ごみの削減を目的として卒業生にとって不要となった家具・家電を新入生に譲るイベント**です。**市場では流通しないが引き取り手のある物**を中心に扱っています。また、**イベントを通じて「リユースの大切さ」「もったいないと思う気持ち」**を伝え、**身近な環境問題を考える契機としてもらう**ことも活動の方針としています。

2010年度は**4月1日（木）**に**吉田食堂1階とその周辺**で開催しました。

出品数は**438物品**とここ数年では最も少なくなりました。物品提供者に書いていただいたアンケートによると、リサイクル市を知らなかった人からの提供申込が減少しており、新たな人に関心を持ってもらうのが不十分だったように感じます。また来場者も昨年より少なくなりました。会場の雰囲気を見ても身近な環境問題を考える契機としてもらうことは難しかったように感じます。

物品回収

今年度の物品回収の申込期間は**1月27日（水）～3月9日（火）**であり、回収期間は**2月7日（日）～3月20日（土）の土日**としました。更に平日持込日を計2日設定しましたが、希望する方はいなかったため実施しませんでした。

今年度は当委員会ウェブサイトのからの申込とルネの1階に設置したポストに申込書を投函することによる申込を実施しました。回収基準については、分解して100×110×170cm以上の物、PCディスプレイ、容量が6kg



以上または屋外設置の洗濯機、二層式洗濯機、清潔さを要するもの、故障品、その他スタッフが不適と判断したものはお断りしました。テレビは地上デジタル放送への完全移行が近づいていますが特別な制限を設けずに引き取りました。回収方法は提供者による大学構内への持込、もしくは当委員会スタッフが提供者宅に伺って回収という形をとりました。後者には主に大学生協より車をお借りし、例年と同じく北山通以北・千本通以西・四条通以南・山科区以東はお断りしました。今年度は95件の回収を行いました。同時に使用済み小型家電回収を行いました。

回収の際は物品提供者に感謝の気持ちを込めて昨年度のリサイクル市の様子などを掲載した簡単な冊子を贈りました。

また3月24日(水)、25日(木)に卒業式(および翌日)に合わせて自転車のみ回収しました。なおパンク・ブレーキ故障については提供者に修理してきてもらいました。

回収の広報には京大生協にお世話になりました。生協の店舗にポスターや卓上広報物を設置しました。さらに卒業生へのダイレクトメールや「らいふすてーじ」にも広告を掲載していただきました。

倉庫は京大内の教室・施設を借用しました。

開催広報

リサイクル市の開催情報やリサイクルショップ案内などを掲載した「リサイクル市へのいざない」という冊子を作成しました。「いざない」には京都市が発行している「京のごみガイド」をいただき同封しました。また、「らいふすてーじ新入生歓迎号」に広告を掲載していただきました。なお、「リサイクル市のいざない」並びに「らいふすてーじ新入生歓迎号」は、京大生協が新入生に配布する「やったね袋」に封入され、新入生に配布されました。そのほか、立て看板での告知や入学手続き日のびら配布を行いました。

当日詳細

吉田食堂の1階をメイン会場として、吉田食堂外に机コーナーと自転車コーナーを設置してリサイクル市を行いました。前日11時から会場準備を開始し、当日は以下のスケジュールに沿ってリサイクル市を開催しました。

09時30分 小物市開場

10時00分 リサイクル市開場

来場者の方々には、11時30分まで目当ての物品を探してもらいます。

11時00分 小物市閉場

11時30分 新入生抽選(スタッフによるくじびき)

12時40分 一般抽選1回目(じゃんけん)

13時00分 一般抽選2回目(じゃんけん)

14時00分 リサイクル市閉場

新入生抽選では、できるだけ新入生に物品を引き取ってもらえるように、学部新入生のみが参加できる抽選を行いました。まず先述の「リサイクル市へのいざない」を持って来た方に新入生抽選参加券を渡し、希望の物品を1つ書いていただきました。その後スタッフによるくじ引きで獲得者を決定しました。今年



度はこの抽選で予想以上の時間が掛かり、一般抽選の開始時刻が当初予定よりも大幅に遅れてしまいました。来場者の方々にはご迷惑をおかけしました。

一般抽選については全物品一斉に行い、じゃんけんに勝った人がその物品を獲得する方式としました。3回の抽選終了後も余っている物品に関しては、先着順により獲得者を決定しました。

また食器やハンガーなどを先着順で引き渡す小物市を行いました。

☆ ★ ☆ ★ ☆

来場者に向けた環境意識の啓発を目的として、広報冊子「リサイクルライフ」を配布しました。そのほかユニークな物品や回収作業の紹介、昨年度受賞した総長賞の展示を行いました。

物品獲得方法やレイアウトなどの必要な情報を伝えるため、説明びらを配布しました。来場者の中には、留学生の方も多くいるので英語版と中国語版を用意しました。

☆ ★ ☆ ★ ☆

自力で持ち帰れない来場者のために、吉田キャンパス周辺に限り配送サービスを実施しました。物品1つにつき、500円の料金をいただきました。また、当日中に物品を持って帰れない人のために一時的に預かる一時保管サービスも行いました。こちらは500円を預かり引渡時に返却するデポジット方式としました。

☆ ★ ☆ ★ ☆

当日は438物品中399物品がもらわれていきました。残った物品についても4月24日まで希望を募ったところほぼすべての品が引き取られました。

事故について

今年度は回収・配送時に軽微な自損事故が計3件発生しました。幸いけが人はありませんでした。今後よりいっそう安全に配慮した運営を心がけてまいります。

会計報告

リサイクル市の物品には、値段がありません。印刷費、ガソリン代など諸々のリサイクル市運営経費については、物品獲得者の方々にカンパをお願いして賄っています。今年度は、物品数が少なかったため収入が落ち込みました。支出面ではスタッフジャンパーを新調したため、収支は赤字となりました。

なお、赤字分は前年度までの積立金で補填しました。

収入		¥276,242
	受付カンパ	¥191,931
	小物市カンパ	¥4,489
	配送	¥66,000
	その他	¥13,822
支出		¥438,299
	ガソリン	¥33,882
	レンタカー	¥82,400
	事故処理	¥40,000
	弁当・食料	¥41,559
	印刷・用紙	¥89,126
	文具・機材	¥90,672
	電話・通信	¥43,669
	物品処理	¥8,715
	その他	¥8,276
総計		¥-162,057

謝辞

前日までの準備また当日の運営には多くの方々に協力していただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。（敬称略・順不同）

- 国立大学法人京都大学
環境保全センター、学生センター 課外担当グループ、総合人間学部 教務掛、工学研究科 教務掛、
教育推進部共通教育推進課経理・施設管理グループ、大学院人間・環境学研究科 総合人間学部 経理掛

理学研究科 化学教室事務
- 京都大学生生活協同組合
本部、吉田食堂、ショップルネ、カフェテリアルネ、北部食堂、北部購買部、中央食堂、
時計台生協ショップ、吉田ショップ、南部購買部
- 京都市 環境政策局 循環型社会推進部 循環企画課
- 11月祭事務局
- 環境サークル えこみっと
- 環境ネットワーク 4Rの会
- 山仕事サークル 杉良太郎
- 有機農業研究会 minori
- 鴨川系サークル ウェルかも！
- 京都大学 法学部自治会
- 京都大学 理学部自治会
- リユースプロジェクト京都
- 関西リサイクルシステムズ株式会社
- 今岡工芸

☆☆

第24回京都大学リサイクル市活動報告

2010年6月7日 初版発行

発行：京都大学リサイクル市実行委員会

京都市左京区吉田本町京都大学安全センター内

編集：真鍋和大（理学部4回生）

印刷：京都大学安全センター印刷局

